

# 千束スタンダード

平成20年4月1日

ねらい

本校のよさの一つとして、すべての教職員が学年の垣根を問わず、すべての子どもたちと学校生活上直接的にかかわることができることがあげられます。そこで、そのよさを大切に、どの教職員も、どの教室でも、学習面や生活面で同じ歩調で指導することが、子どもたちの迷いや不審をなくし、学力の定着・向上を含めて健やかな成長に寄与するものと考えています。そのためにも、本校における指導上の最低限の標準事項（千束スタンダード）を作成したいと考えました。これについては、これまでも確認してきた学習編の事柄「スタンダード」と新たに付け足した1日の生活の事柄「スタンダード」があります。教職員で共通理解し、必ず実践していきたいと考えています。

## （共通編）

教職員からの元気なあいさつを子どもたちに送る。

呼名（くん・さん）と返事を徹底する。

子ども同士の呼び捨てを排除する。くん・さん付けをさせる。

ていねいな言葉遣いに心がける。

使ったものはもとのところへ戻す、後片付けを徹底する。

## （学習編）

項目	
1 学習の始め方・終わり方	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の始まりと終わりの区切りを明確にする。</li><li>・教師の指示や子どもが号令をかける。</li></ul>
2 本時の学習のねらいと予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・本時の学習のねらいを板書する。</li><li>・本時の学習の流れを子どもに伝える。</li></ul>
3 発言の仕方	<ul style="list-style-type: none"><li>・1回の「はい」或いは、静かに挙手する。（「はい、はい」は、他の子の思考を妨げる。）</li><li>・指名されたら、「はい」の返事をする。</li><li>・起立して気を付けの姿勢で発言する。</li></ul>
4 話し方・聞き方	<ul style="list-style-type: none"><li>・話し方及び聞き方の約束を徹底する。</li><li>・黒板や教師ではなく、全体を見て発表する。</li></ul>
5 ノートの取り方	<ul style="list-style-type: none"><li>・日付を入れる。</li><li>・算数科では特に間違いを消さない。（二重線消し）</li><li>・直線を引くときは定規を使う。（筆算も）</li><li>・下敷きを使う。</li></ul>
6 その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・シャープペンシルは使わない。</li><li>・単元が終了したら、学習についての感想を書かせる。</li></ul>